





JAきたみらい青年・女性三組織
20周年記念誌

発刊にあたって

JAきたみらい青年部

令和6年度部長
20周年記念事業実行委員会 実行委員長

廣 中 諭

この度、JAきたみらい青年部が設立20周年を迎えるにあたり、記念誌を発刊する運びとなりました。設立以来、私たちは地域社会や農業の発展、青年部員が結束し、より良い農業の未来を作り上げていくことを目指して、様々な活動を行ってきました。この20年間、諸先輩方や関係機関、青年・女性組織の部会員である皆さんと共に、私たちの活動の成果や成長を一緒に振り返る機会を持つことに大変嬉しく感じます。

前回の10周年記念事業からこれまでの10年間の青年部活動の中で、特筆すべきは支部の統合と、コロナ禍による活動の自粛と感じます。

各地域にあった8支部が、部員数の減少などを受けて、2015年から西支部、2018年から東支部・南支部と、現在の3支部体制となりました。合併当初は地域間で活動に違いがあり、ぎこちなさがあったものの、今では支部内で地域の垣根はかなりなくなってきたように感じます。

この10年間で部員数は100名以上の大幅な減少傾向にあり、それは今後も続くと予想されます。近い将来には支部制が廃止となり、本部一本化へと動き出さなければならない時を迎えるかもしれません。部員数減少により規模縮小や廃止となった事業もありますが、決して青年部が衰退しているとは感じません。私たちは常に、今自分たちにできること、必要な活動を考え、全力で取り組んでいます。人数が少なくなっただけ個々の関係性が濃密になり、より地域を超えた結びつきが強くなっているとも言えます。

コロナ禍の影響によって1年以上、ほぼ全ての活動が自粛に追い込まれ、強制的にリセットをかけられた状態となりましたが、今では活動数、参加率ともに以前の水準にまで回復しています。それはやはり部員一人一人が青年部活動の必要性、人と繋がることの重要性を再認識できたからこそではないでしょうか。農業を取り巻く情勢は常に不安や課題が多くありますが、我々は団結によりこれらに立ち向かい、これからも農業と地域の発展に貢献していきたいと考えています。

結びになりますが、日頃より我々青年部の活動に対して、ご協力頂いているJAをはじめ、関係機関の皆様、そして盟友の皆様へ感謝申し上げます。今後とも青年部活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます、発刊の挨拶とさせていただきます。



JAきたみらい青年・女性三組織
20周年記念誌

発刊にあたって

JAきたみらい女性部

令和6年度部長
20周年記念事業実行委員会 副実行委員長

大槻 由紀江

この度、JAきたみらい女性部は設立20周年を迎えることができました。これも全て諸先輩方、部員、女性部活動にご協力頂いているJA役職員、各関係機関の皆様のおかげです。また、日頃より活動目的を理解して家から送り出してくれる家族の皆様の協力なくして女性部は成り立ちません。女性部を代表して心より感謝申し上げます。

そして、多くの方が紡いできた20年間の足跡を記した未来に繋ぐ1冊としてこの記念誌を発刊することができましたことに、重ねて感謝申し上げます。

女性部をはじめとした組織活動で感じることは「つながり」です。部員同士、青年部やフレッシュミズの皆さん、JA役職員など多くの方が結びつくことで、組織の土台が形作られています。その土台の上で私たちは活動をしているわけですが、世界的に影響を及ぼした令和2年の新型コロナウイルス感染症によって全てが止まってしまいました。あの時期は多くの方が下を向いて生活していました。農家は畑で農作業をしていましたが、人とのコミュニケーションはほとんどゼロに近い状態となりました。

しかし、その経験があったからこそ、よりつながりを大切にするようになりましたし、組織活動の必要性を強く感じるできるようになりました。

今、私が部長職を務め、目標にしていることは「とにかく楽しい組織にする！」ということです。たくさんの仲間が一堂に集まって大きな声で笑い合い、心から楽しめるような組織になっていくことを願っています。そして、「女性部に入っていて良かった」と一人でも多くの部員の皆さんに感じてもらえれば幸いです。

結びになりますが、皆様のご健勝とご多幸を祈念し、今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますことをお願い申し上げます。発刊の挨拶と致します。



JAきたみらい青年・女性三組織
20周年記念誌

発刊にあたって

JAきたみらいフレッシュミズ

令和6年度 会長 河合美佳

JAきたみらいフレッシュミズは、設立20周年を迎えました。これまでの歴史を築いてきた諸先輩方や、JA役職員の皆様、各関係機関の皆様ののおかげだと思います。さらには、フレッシュミズ活動を理解して、時にはアドバイスをしてくれる家族の協力が大きな支えになっており、会員を代表し、心より感謝申し上げます。

私がフレッシュミズに入会した頃の第一印象は、支部活動がとても活発で、こんなにたくさんのお嫁さんがいて、活動に参加する会員の皆さんがすごくいきいきと、そしてキラキラしているように見え、強く感銘を受けたことを覚えています。

フレッシュミズが設立した当初は8つの支部がありましたが、会員数の減少が止まらず支部の統合が進みました。令和6年度からは現在の一本化になり、きたみらい管内全体で活動しています。新しい環境になって不安もありましたが、違う地域の方々と会話することが増え、楽しく思っています。

その一方で、フレッシュミズの役員会議では、減少する会員数をどうしたら維持していけるのかが、欠かせない項目になっています。解決策が見つからないまま20周年を迎えましたが、私たちにとってこれからの最大の課題であり、どのような活動だと未加入者の方に興味を持ってもらえるのか、どうしたら加入しやすくなるのかを話し合っています。どの組織も抱えている難しい問題ですが、役員が中心となっていろいろな角度から解決の糸口を探っていきたいと思います。そして、フレッシュミズという組織がいつまでも、いきいきとキラキラして活動できるよう、次の世代へ繋いでいきたいです。

最後になりますが、皆様のご健勝とご多幸を祈念し、今後とも変わらぬご支援ご指導を賜りますことをお願い申し上げます、発刊の挨拶とさせていただきます。